

「教育現場で、利用したい ICT 利用の方法について」のご意見より

ICTの教育現場での活用は、この10年間で大幅に進展しています。

一方、①デバイス等の壁、②コンテンツの壁という二つの大きな壁があるために諸外国に比べてその速度が遅々たるものであることが課題であると考えます。

①**デバイスが高価、通信料が高価**

②**コンテンツ（著作物）の、一般社会での制限が緩く、教育現場では逆に強く制限されていること**

①については、デバイスはBYODで対応できる面もあるが、通信料については事業者優位であり、国の示した通信料の値下げが妥当という見解がどこまで、いつまでに実現されるかが不透明である。

メッシュネットの進んでいる韓国に比べ、電線やアンテナ基地のインフラ整備が先行していた我が国では、通信事業者を負うところが大きいことが今はネックとなっている。

②については、著作権料の支払いによる著作権の尊重を、一般社会と教育現場とでは区別していくべきである。教科書会社と同程度の自由度を学校現場にも認めることが必要であると考えます。また、セキュリティーの観点から、各教育委員会が独自のセキュリティー基準を設け、厳しくネットワーク管理を行っているため、動画等のコンテンツがそもそも活用できないという状況もある。